



首都大学東京 牧野標本館 50周年記念事業

**牧野富太郎からの贈りもの**  
— 植物標本が伝えるサイエンスのこころ —

主催：首都大学東京／東京都神代植物公園  
協力：高知県立牧野植物園／練馬区／日本植物分類学会  
／財団法人特別区協議会／東京都交通局

首都大学東京牧野標本館は、昭和33(1958)年東京都立大学に設立され、平成20(2008)年に設立50周年を迎えます。本学と東京都神代植物公園では、この記念すべき節目の年を迎えるにあたり、わが国植物分類学の草分けとされる特筆すべき研究者であり、名誉都民第1号でもある牧野富太郎博士(1862～1957)の業績を振り返り、その研究意義と貴重な学術資産の周知を図るとともに、牧野標本館の現在の研究活動内容・成果を紹介することを目的として、以下のとおり記念事業を実施します。

**【記念事業の内容】**

- ◆ **平成20年3月 記念誌「牧野標本館50年史」の発行**  
牧野標本館所蔵標本とその特色、関係者による「牧野標本館の思い出」などを収録しています。
- ◆ **平成20年3月23日(日) 公開シンポジウム「牧野富太郎博士の植物研究とその継承」**  
日本植物分類学会第7回大会の最終日に公開シンポジウムを開催します。
- ◆ **平成20年4月・7月・8月・11月 牧野植物標本展示会**  
東京都神代植物公園はじめ都内4ヶ所で、牧野博士の人物像、標本館の設立当時から現在までの研究業績などを紹介するほか、牧野植物標本、東京都の絶滅・絶滅危惧種の植物、牧野博士ゆかりの品の展示などを行います。(展示期間は別紙を参照してください。)
- ◆ **平成20年8月2日(土) オープンユニバーシティ特別講座「夏休み 親子でチャレンジ植物標本づくり」**  
牧野標本館スタッフによる植物のお話のほか、実際に親子で標本作成に挑戦していただきます。
- ◆ **平成20年11月2日(日) 記念講演**  
荒俣宏氏(博物学者・小説家)の特別講演のほか、小山鐵夫氏(高知県立牧野植物園園長)、小野幹雄氏(東京都立大学名誉教授)が講演します。

**問い合わせ先**

**【記念事業全般に関すること】**

公立大学法人首都大学東京 経営企画室広報担当 電話 03(5320)7080

**【記念誌・植物標本・植物に関すること】**

首都大学東京 都市教養学部理工学系生命科学コース 電話 042(677)2424

**【東京都神代植物公園での牧野植物標本展に関すること】**

東京都神代植物公園 電話 042(483)2381

## 【別紙】

### ◆ 記念誌「牧野標本館 50 年史」の発行

牧野標本館所蔵標本とその特色(1.牧野標本館の交換・寄贈標本、標本の同定者、2.牧野標本館所蔵のタイプ標本、3.牧野標本館所蔵のシーボルト植物コレクション、4.牧野標本館の藻類標本、5.櫻井久一蕨苔類コレクション、6.牧野標本館のシダ植物標本、7.小笠原とガラパゴスの植物標本)、元館長や元教職員、関係者による牧野標本館にまつわる思い出など、牧野標本館の 50 年に及ぶ歴史と業績をつづった約 180 ページの記念誌です。全国の大学・都内市区町村の図書館等に配付予定。

### ◆ 公開シンポジウム

日本植物分類学会第7回大会最終日に「牧野富太郎博士の植物研究とその継承」と題して、首都大学東京南大沢キャンパスで開催します。当該シンポジウムは一般に公開されます。

#### 【開催日時及び場所】

- ・平成 20 年 3 月 23 日(日) 13 時 30 分から 16 時 30 分まで
- ・首都大学東京南大沢キャンパス(八王子市南大沢 1-1(京王相模原線南大沢駅から徒歩 5 分))  
6号館1階110番教室にて
- ・入場無料(事前の予約は必要ありません)。
- ・定員 450 名

#### 【講演者及びタイトル】

- ・大場 秀章 氏(東京大学名誉教授)  
「牧野植物学と植物画」
- ・田中 伸幸 氏(高知県立牧野植物園研究員)  
「牧野博士の行動録～編纂の経緯と今後の課題～」
- ・菅原 敬 准教授(首都大学東京 都市教養学部 理工学系 生命科学コース)  
「牧野博士も研究したカンアオイ類～その奇妙な花と繁殖～」
- ・畔上 能力 氏(八王子自然友の会会長)  
「アマチュア植物研究者による植物研究の展開」
- ・邑田 仁 氏(東京大学理学研究科附属植物園園長)  
「マムシグサとテンナンショウ～牧野図鑑の歴史を振り返って～」

### ◆ オープンユニバーシティ特別講座「夏休み 親子でチャレンジ植物標本づくり」

夏休み期間を利用し、小学生と保護者を対象として、植物学の基礎知識と植物標本の作成実技指導を行います。植物学の面白さを通じて理科への興味を持っていただくとともに、夏休み自由研究の宿題としても有益な内容です。講義内容は、午前中は植物学の基礎知識、午後は植物標本の作り方指導を予定しています。

特別講座の開催に併せて、牧野植物標本展示会も実施します。(「◆牧野植物標本展示会(3)」参照)

#### 【開催日時及び場所】

- ・平成 20 年 8 月 2 日(土) 10 時から 16 時まで
- ・首都大学東京飯田橋キャンパス(千代田区飯田橋 3-5-1 東京区政会館3階)
- ・定員 ペア 20 組(教材費 500 円が必要です)。

◆ 牧野植物標本展示会

(a) 牧野博士の人物像、(b) 牧野標本館の設立から現在までの研究業績をパネルで紹介するほか、(c) 本学が所蔵する牧野富太郎博士の採集した貴重な植物標本、(d) 牧野富太郎博士ゆかりの品、(e) 東京都の絶滅・絶滅危惧種とされる植物など、この機会にしか見られない数々の展示品を都内4箇所ですべて公開します。(開催場所により、展示が一部異なりますのでご注意ください。)

【開催期間及び場所】

- (1) 平成20年4月29日(火)～5月11日(日) 9:30～17:00(入園は16:00まで)  
東京都神代植物公園(調布市深大寺元町5-31-10)(京王線調布・中央線三鷹駅からバス約20分)  
※5月7日(水)休園。入園料(一般500円)が必要です。  
(展示は上記の(a)人物像、(b)研究業績、(c)植物標本、(e)東京都の絶滅・絶滅危惧植物の実物展示です。)
- (2) 平成20年7月5日(土)～7月11日(金) 9:30～17:30(入室は17:00まで)  
東京都庁南側展望室(新宿区西新宿2-8-1)(都営地下鉄大江戸線都庁前駅から徒歩1分)  
※入場無料。  
(展示は上記の(a)人物像、(b)研究業績、(c)植物標本、(d)ゆかりの品です。)
- (3) 平成20年8月1日(金)～8月7日(木) 9:30～17:00  
首都大学東京飯田橋キャンパス35教室(千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館3階)(JR・地下鉄飯田橋駅から徒歩2分)  
※入場無料。  
(展示は上記の(a)人物像、(b)研究業績、(c)植物標本、(d)ゆかりの品です。)
- (4) 平成20年10月28日(火)～11月3日(月) 9:30～17:00  
首都大学東京南大沢キャンパス国際交流会館ホール(八王子市南大沢1-1)(京王相模原線南大沢駅から徒歩10分)  
※入場無料  
(展示は上記の(a)人物像、(b)研究業績、(c)植物標本、(d)ゆかりの品、(e)東京都の絶滅・絶滅危惧植物の実物展示です。)

- ◆ 記念講演：牧野富太郎博士の業績等に造詣の深い、3名の講師による講演は、「みやこ祭」(首都大学東京南大沢キャンパス第4回大学祭)にて、一般に公開されます。また、記念講演の開催に併せて、牧野植物標本展示会も実施します。(「◆牧野植物標本展示会(4)」参照)

【開催日時及び場所】

- ・平成20年11月2日(日) 午後1時から午後4時まで
- ・首都大学東京南大沢キャンパス(八王子市南大沢1-1)6号館1階110番教室にて
- ・入場無料(事前の予約は不要です)。定員450名

【講師及び講演題目】

◎特別講演 13:00～14:00

講師：荒俣 宏 氏 (博物学者・小説家)

司 会：高山 宏 教授 (首都大学東京 都市教養学部 人文・社会系 国際文化コース)

テ ー マ：「牧野富太郎の人物像」

◎講演 14:00～15:00

講師：小山 鐵夫 氏 (高知県立牧野植物園園長・財団法人高知県牧野記念財団専務理事)

テ ー マ：「牧野富太郎の植物画」

◎講演 15:00～16:00

講師：小野 幹雄 氏 (東京都立大学名誉教授・日本自然保護協会評議員)

テ ー マ：「牧野富太郎博士の業績と想い出」

## 【参考資料】



牧野標本館外観（南大沢キャンパス）



牧野標本館 標本室

### 【首都大学東京牧野標本館とは】

わが国の植物分類学の草分けともいえる故牧野富太郎博士(1862～1957)が収集した植物標本約 40 万点が、昭和 33(1958)年に本学に寄贈されました。

これらの標本は、牧野博士が新種として発表した植物の基準標本(タイプ標本)の一部を含み、日本のほぼ全域をカバーする標本で、明治時代の東京市内の植生の証拠として、大変貴重なものです。

首都大学東京の前身である東京都立大学では、同博士の業績を永く記念し、また研究資料としてその標本を活用するため、昭和 33(1958)年に牧野標本館を設置して整理と保管にあたってきました。

平成 17 年に発足した首都大学東京においても、理工学研究科生命科学専攻・植物系統分類研究室の教員が中心となって、標本の管理と、所蔵標本を活用した教育・研究活動を行っています。

牧野標本館は、日本の代表的な標本館の一つとして、植物分類学の研究資料センターの役割を果たしています。

現在の所蔵標本は、重複分を除いた牧野標本約 16 万点を核として、世界各国との交換による取得分と、本学の研究者による取得分を合わせて約 48 万点です。標本数は東京大学、国立科学博物館、京都大学について日本で4番目、国内有数の施設です。

平成 18(2007)年日本植物学会特別賞を受賞しました。

### 【牧野富太郎博士とは】

半世紀にわたり読みつがれてきた「牧野日本植物図鑑」の著者であり、日本の植物分類学の父とも言われる植物学者で、天性植物を好み、自らを「草木の精」と称しました。

牧野博士が生涯に採集した標本は約40万枚に及び、それらに基づき新種や新品種など多数の日本の植物を命名しました。

(高知県立牧野植物園ホームページより)

牧野博士の功績は、全国規模にわたる標本採集とそれに基づく分類研究、講演会などを通じての一般教育普及活動そして西洋レベルの緻密な植物図を残したこと、の3点に集約されます。

このような社会文化の興隆の功績に対して、昭和 28(1953)年、東京都から名誉都民第1号の称号が贈呈されました。



キノコ踊に興じる富太郎、青森県恐山の山中にて（高知県立牧野植物園所蔵）



清水峠にて(高知県立牧野植物園所蔵)